

住民の選好の見方？捉え方は？

大塚 佳臣 東洋大学・総合情報学部・准教授

合意形成において選好を把握することの意義

利害関係者は 多様な価値観 (選好) を持っている

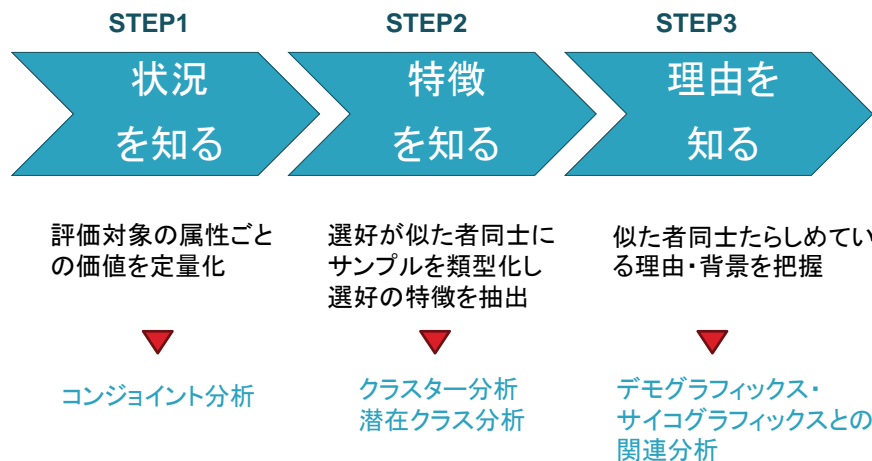
多様な選好の存在を把握することが重要

- ❖何をどれくらい重視しているか？
- ❖似た選好を持っている人がどれくらいいるのか？
- ❖その選好を持った背景は？

多様な選好の情報を共有して合意形成の議論に

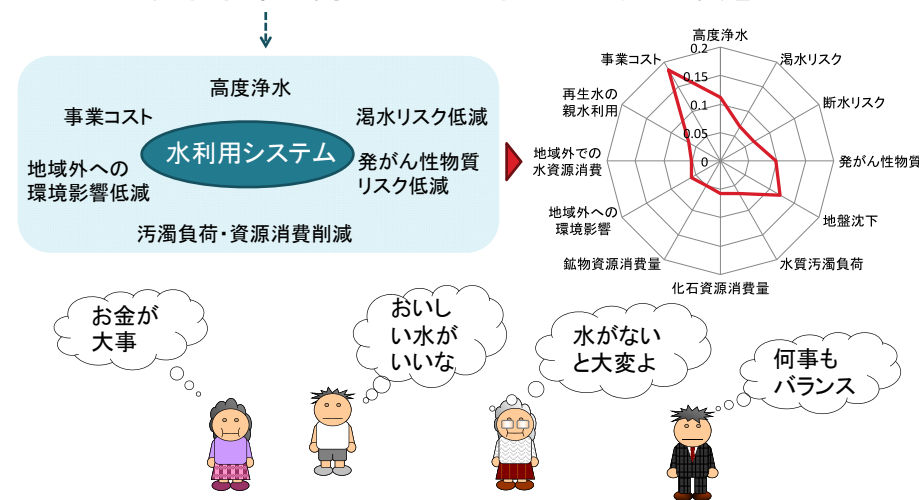
- ❖特定の意見(選好)に左右されない議論を
- ❖こだわる理由を理解しあい、対立の根本的原因を明らかに

選好把握の流れ



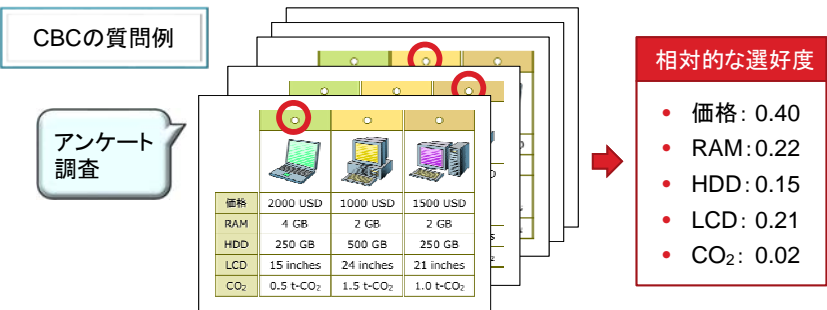
STEP1 状況を知る

評価指標(属性)ごとの相対的な選好度を知る



コンジョイント分析による選好評価

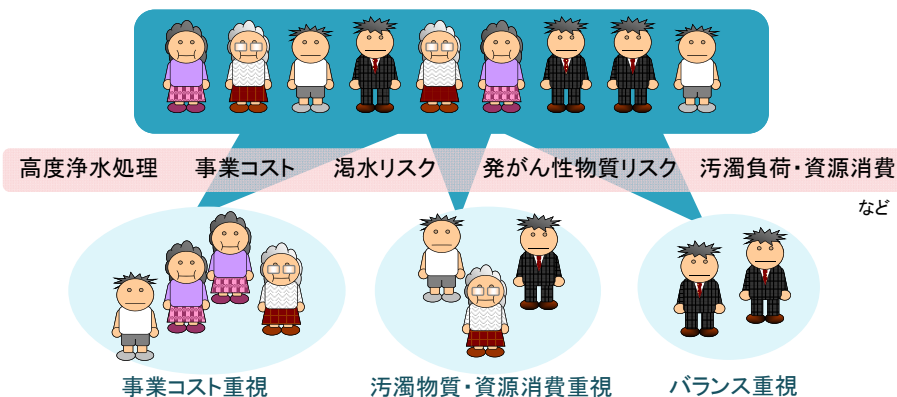
- ① プロファイル (多属性の評価対象) を回答者に提示する。
- ② 複数のプロファイルから 回答者が 最も好ましい と思うものを尋ねる。
➢ CBC (選択型コンジョイント分析)
- ③ 同様の質問を繰り返すことで 属性間の 相対的な選好度 が算出される。
✓ ACBC (アダプティブCBC) では 個人ごと に属性間の選好度を算出できる。



STEP2 特徴を知る

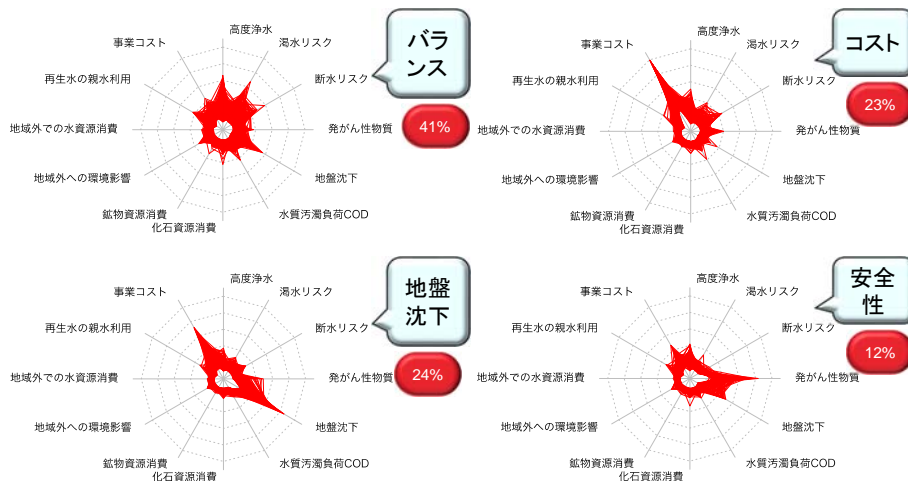
- 商品、サービスに対する消費者の選好は人によって違う
- 個人別の選好に着目すると集団の特徴が見えない

→「似た者同士」に類型化



水利用システムへの選好が似た者同士に類型化する

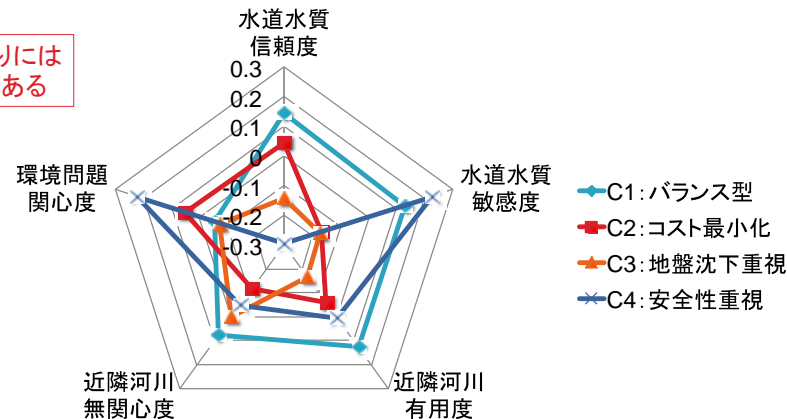
コンジョイント分析で得られた個人別の選好パターンをクラスター分析によって類型化



STEP3 選好の背景を知る

- 水道水への意識
 - 近隣河川への意識
 - 環境問題全般に関する意識
- の質問(4段階)回答データの主成分得点をグループ別に集計

こだわりには理由がある



水道水への意識の主成分

敏感度 信頼度

質問	成分1	成分2
水道水によって大規模な感染症が発生することもあると思う。	.72	-.30
水道水を飲むことによって命にかかわるような健康影響が起きることもあると思う。	.81	-.23
水道水を飲むことにより下痢症になる可能性が高まると思う。	.84	-.14
水道水を飲むことにより発ガンの可能性が高まると思う。	.85	-.09
水道水を飲むことは直感的に恐ろしいと思う。	.81	.06
水道水を飲むことによる健康リスクを小さくするのは難しいと思う。	.75	-.10
水道水を飲むことによって健康にどのような影響があるかよくわからないと思う。	.55	-.35
水道水を飲むことによる健康リスクは過去に比べて増大していると思う。	.76	-.04
水道水を飲むことによる健康リスクはすぐに発生すると思う。	.77	.30
あなたの周りの人々は、水道水を飲むことによる健康影響について正確な知識を持っていると思う。	.53	.69
水道水を飲むことによる健康影響は科学的に解明されていると思う。	.37	.66

近隣河川(自宅周辺の河川)への意識の主成分

有用度 無関心度

質問	成分1	成分2
守るべき身近な自然環境である。	.52	-.58
楽しんだり、くつろいだりする場所である。	.68	-.54
快適な生活空間を作る存在である。	.73	-.50
洪水対策の水路である。	.60	-.33
交通・往来の妨げとなる邪魔な存在である。	.59	.50
危険な場所である。	.52	.50
きたないドブ川である。	.40	.65
川自体を見えなくした方が良い。	.44	.69
この川に関心がない。	.15	.74

環境問題意識の主成分

質問	成分1
環境問題は深刻な問題である。	.72
環境問題に関心がある。	.74
可能な限り環境を守ることは自分の責任だ。	.79
環境問題の原因は私たちの日々の生活にある。	.80
私たちの日々の行動が環境問題解決につながる。	.83
環境にやさしい行動をすることは社会的に求められている。	.85
環境にやさしい行動をしている人を見ると自分もしなければと思う。	.82
環境にやさしい行動をすることはよいことだ。	.80
私は、他の人に関係なく環境にやさしい行動をしなければいけない。	.84
環境にやさしい行動をすることは個人として当然だ。	.85

水利用システムに対する選好のまとめ

